

漫湖水鳥・湿地センター たよひ No.22

2005年5月17日発行



3月12日 「沖縄大学」で発表

漫湖クリーンサークルは、平成16年度の沖縄大学「ジュニア環境支援」事業（小中高による環境研究への支援）に参加しています。沖縄大学でその成果発表を行いました。



大活躍!!
漫湖クリーンサークル

3月26日 「こどもエコクラブ那覇大会」で 発表

末吉公園にある「森の家みんな」で開催された、こどもエコクラブ那覇大会（那覇市環境保全課主催）に参加し発表を行いました。



日頃のゴミ拾いを通じて感じたことや、ゴミの種類別カウント調査のデータや、漫湖で見つけた「びっくりしたゴミベストテン」などを発表しました。

また、ゴミ拾い活動のほかに、メンバーの一人が「アジア湿地ウィーク・日中韓3カ国子ども湿地学習交流会」に参加した時の様子も報告しました。



クロツラヘラサギ情報



白い体に真っ黒な顔、サギと名前がついていますが、実はトキの仲間です。細長いしゃもじ形のくちばしを川の中につっこんで、首を左右に振りながら歩く姿は、他の白いサギたちと動きが違うので、遠くからでもすぐにわかります。あんなに首を振っていたら目をまわさないだろうかと心配になるぐらい、一心不乱にエサを探しています。

このクロツラヘラサギは、世界でも千羽程度しかいないといわれている貴重な鳥です（絶滅危惧1A類）。主に朝鮮半島で繁殖し、多くは台湾・香港等で越冬しているようですが、日本でも九州、沖縄などにやってきます。

最近では、十数羽のクロツラヘラサギが沖縄で冬を過ごしています。豊見城警察署近くの三角池や、瀬長島近くの具志干潟が主な場所で、漫湖には、時々2,3羽やって来ます。そして春になると（4～5月頃）北へ渡っていくのです。

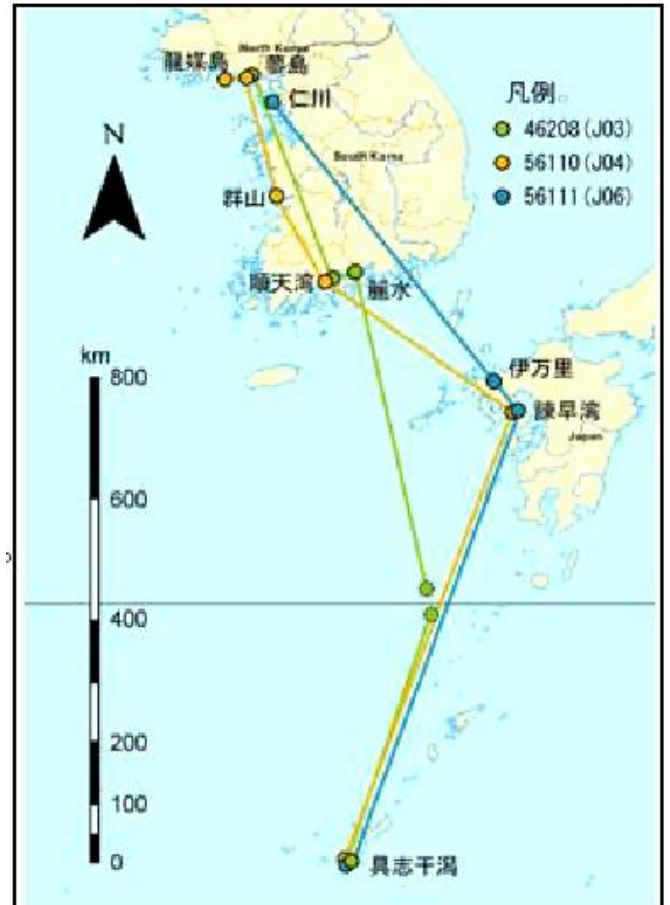
一昨年の冬、世界最大の越冬地である台湾で、ボツリヌス菌によるクロツラヘラサギの大量中毒死が発生したことから、越冬地の保全を考えることは、ますます重要になっています。

そして現在、その渡りの経路を明らかにし、生息環境を特定するため、環境省が人工衛星による追跡調査を行っています。この調査は日中クロツラヘラサギ共同調査の一環として実施されるものです。

今年3月7日、沖縄県豊見城市で10羽のクロツラヘラサギにカラー足環を装着するとともに、そのうち3羽に人工衛星用送信機がつけられました（この様子はニュースでも放送されました）。

送信機をついた3羽の個体は、4月初旬に旅立ち、朝鮮半島に渡ったことが確認されています。詳しいことは、環境省奄美沖縄地区自然保護事務所のホームページ（<http://www.sizenken.biodic.go.jp/park/>）をご覧ください。沖縄を出て、一日で九州まで飛んでいるようです。すごいですね。

昨年は5月中旬まで漫湖にいましたが、今年はどうでしょうか？センターホームページでもクロツラ情報を掲載しています。



平成17年度行事予定

5月

★こどもの日企画
「カニと遊ぼう！」

6月19日

★マングローブ
講座
13時～15時
講師：馬場繁幸

7月

★カニの観察会
★沖縄のセミ講座

8月

★カニの観察会
★アート教室
★鳥の絵を描こう

9月

★漫湖の魚講座

10月

★漫湖の水質講座

11月

12月

★講演会
★絵、作文コンクール
入賞作品の展示

1月

野鳥観察会

2月

野鳥観察会

3月

※ 行事の時期、内容などは都合により変更になる場合があります。ご了承下さい。

※ 各講座は、電話による事前予約が必要です(それぞれ2週間前から受付)。

※ 詳しい日程は、ホームページや新聞などでご案内いたします。



漫湖水鳥かわら版22 ~渡りの準備開始！3・4月

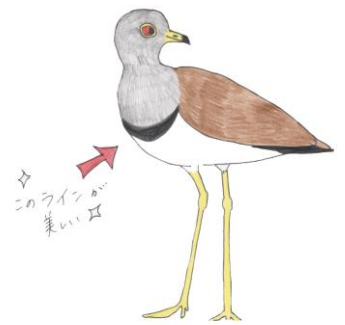
3月

	羽数	先月との比較
ダイサギ	9	→
チュウサギ	4	↑
コサギ	3	↓
アオサギ	30	↓
クロツラヘラサギ	2	↓
カルガモ	4	↓
ハシビロガモ	2	↑
ミサゴ	3	↑
バン	8	↑
シロチドリ	9	↓
メダイチドリ	4	↑
ムナグロ	118	↓
ダイゼン	22	↑
アカアシシギ	15	↓
アオアシシギ	32	↑
コアオアシシギ	1	↓
キアシシギ	2	↑
イソシギ	10	↓
オオソリハシシギ	2	↓
ダイシャクシギ	9	↓
ホウロクシギ	1	↑
チュウシャクシギ	6	↑
タシギ	6	↑
キセキレイ	1	↓
ハクセキレイ	3	↓
合計	306	↓

月の最大個体数
先月の個体数との比較
↑増加 ↓減少 →同じ

4月

	羽数	先月との比較
ダイサギ	10	↑
チュウサギ	4	→
コサギ	6	↑
アオサギ	11	↓
クロツラヘラサギ	3	↑
ミサゴ	5	↑
バン	1	↓
ムナグロ	38	↓
ダイゼン	2	↓
ケリ	1	↑
アカアシシギ	3	↓
アオアシシギ	31	↓
キアシシギ	1	↓
イソシギ	8	↓
ダイシャクシギ	1	↓
チュウシャクシギ	8	↑
セイタカシギ	1	↓
ユリカモメ	1	↓
合計	135	↓



<つれづれなるままに・・・管理日誌より>

4月16日 夏羽のとってもきれいなオグロシギ登場!!
4月22日 大型映像の画面に見慣れない鳥が・・・
おお、ケリです。お客様といっしょにじっくりと観察できました。

新たな出会い & リピーターを目指して

広川 ヨシ子

ふと、気がつくと漫湖水鳥・湿地センターのデイゴの木にも花が咲き始めました。

梅雨の頃となりました。

昨年度は、皆様の温かいご指導とご支援の下、来館者が4万人突破しました。感謝申し上げます。

今年度も地域はもとより、県外、あるいは外国と多くの方々に親しまれる当センターにしたいと、職員一同はりきっているところです。

どうぞよろしくお願いいたします。

さて、職員の異動があります。

3月迄、すばらしい働きをしてくれた宮城靖子の退職に伴い、中井聡子が勤務します。

彼女も前任者同様、自然に対する感性豊かなものを持っております。紹介します。



はじめまして。4月から当センタースタッフになりました中井聡子です。

漫湖水鳥・湿地センターには、近所の子供たちが自転車に乗ってたくさんやってきます。そんな子供たちに、そしてセンターにいらっしゃる多くの方に「楽しかった!!」「おもしろかった!!」「よかった!!」と言ってもらえるようなセンターを目指して、頑張っていこうと思います。

滋賀県出身、沖縄に来て日も浅く、分からないことも多いかと思いますが、よろしくお願いします。

マングローブの芽がでました



2月に植えたメヒルギの胎生種子。ずっと芽が出ず、もう枯れてしまったかな?とっていたら、春になって元気に芽を出してくれました。お客様にも大人気の胎生種子、これからの成長が楽しみです。



こちらは、先日拾った胎生種子です。センターの前にたくさん落ちていました。このたくさんの種子も芽を出してくれるかな?



ようこそ!

漫湖水鳥・湿地センターへ

○利用団体○

3月
幼稚園・保育園
とよみ保育園
学童・子ども会
読谷村大湾子ども会 与儀児童クラブ
南風原町エコクラブ
小学校
高嶺小学校4年生
喜屋武小学校
中学・高校
沖縄尚学高等学校
豊見城高校2年生(2回)
鏡原中学校1年生(2回)
小禄高校
その他
クラブツーリズム(4回)
沖縄県造園建設業協会
真玉橋自治会
沖縄県出納長
沖縄市ゴヤ婦人会
日本野鳥の会
4月
小学校
津嘉山小学校5年
医療・福祉関係
デイサービスにじ
与那原町障害者交流センター
その他
とよみ小学校教師研修
クラブツーリズム(4回)



総入館者数

42,861人

入館者数

3月 1,294人(うち団体724人)

4月 1,131人(うち団体343人)

市町村別入館者数(人)

3月

	市町村	人数
1	那覇市	509
2	県外	423
3	豊見城市	124
4	読谷村	75

4月

	市町村	人数
1	那覇市	468
2	県外	286
3	豊見城市	138
4	南風原町	120

宮城靖子さんよりバトンをもらい、通信を担当することになりました中井聡子です。

センター内を吹き抜けるさわやかな、時ににぎやかな話題を皆様にお届けできるよう、頑張ります。

それでは、よろしくお願ひします!!



中井 聡子

< 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会(環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市) >

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合・翌日)、年末年始(12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: [http:// www.geocities.jp/manko_mizudori/](http://www.geocities.jp/manko_mizudori/)